

## 研究についてご協力をお願い

戸畑共立病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や 研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして 実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は下記のお問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

研究課題名	当院における胃内視鏡的粘膜下層剥離術後狭窄の検討
研究責任者	大津 健聖
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的と方法	<p>胃上皮性腫瘍や胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（以下 ESD）は広く普及し、大きな腫瘍に対しても一括で切除可能となった。しかし、胃 ESD を施行する際に、起こりうる合併症の内容や頻度について、常に念頭に置く必要がある。</p> <p>これまでの報告から胃 ESD の合併症として穿孔や後出血のほか狭窄があり、噴門部あるいは幽門部の比較的広範囲剥離した症例に起こることが知られている。また狭窄予防に関して、食道 ESD では広範囲剥離症例に対するステロイド併用の有用性が明らかになっている。しかし、胃 ESD におけるステロイド併用の有用性は明らかではない。当施設における胃上皮性腫瘍および胃粘膜下腫瘍に対する ESD 後狭窄の現状および狭窄に対する治療戦略を考察する。</p> <p>2004 年 2 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日の期間に戸畑共立病院で、胃上皮性腫瘍および粘膜下腫瘍に対して ESD を施行した症例のなかで、噴門部および幽門部病変に対し ESD を行った症例を比較検討し、ESD 後狭窄症例の臨床的特徴を明らかにする。</p>
調査データ抽出期間	2004 年 2 月 1 日～2024 年 6 月 30 日
研究期間	施設管理者より発行される臨床研究実施に関する決定通知書交付日より 2024 年 8 月 31 日まで
研究に用いる情報・試料	調査する臨床情報は、年齢、性別、病変部位、平均腫瘍径、切除周在性、切除径、肉眼型、治療合併症、病変組織型、切除標本の粘膜下層切離距離、薬剤（ステロイド）投与歴などを調査する。
試料・情報の他機関への提供および提供方法	該当致しません
個人情報の取り扱い	施設の担当者が記載した時点で USB メモリもしくは CD-R に情報を収集

	し、最終的にデータを固定したファイルを USB メモリに保存し、その後データの解析を行う。
本研究の資金源 (利益相反)	該当致しません
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。 また研究の協力をご了承いただけない場合は研究対象者としませんので下記へお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることがございません。</p> <p>所属：戸畑共立病院 消化器病センター 電話番号：093-871-5421（内線 2251）</p> <p>担当者：宇野駿太郎 職位：医師</p>